

社債市場の活性化に向けた今後の取組み

平成 25 年 2 月 15 日

社債懇事務局

I. 社債市場の活性化に向けた課題

1. 社債懇報告書「社債市場の活性化に向けた取組み」に掲げられた課題

- (1) コバナンツ・債務の状況等に関する情報開示
(事例集の作成等を通じた開示の充実のあり方についての検討)
- (2) 社債権者保護の充実のあり方
 - ① 社債権者への情報伝達及び意思結集インフラ整備
 - ② 社債管理人（仮称）の検討
 - ③ 社債権者保護のあり方についての課題の検討
- (3) 社債の取引情報の報告・公表
- (4) 社債レポ市場の整備

2. 今後取組みが必要と考えられる課題

- (1) 社債投資の促進（機関投資家（年金基金等）の社債投資の促進に向けた課題の整理）
- (2) その他社債市場の活性化に向けた課題

II. WGの設置、今後の検討スケジュール

上記 I の課題の検討、取組みを進めるに当たって、新たにワーキング・グループ（以下「WG」という。）を設置する。

1. WGの設置

- (1) 社債市場の活性化に向けたインフラ整備に関するWG
上記 I の 1 の (1)、(2) 及び 2 の (2) について、検討を進めるため、別紙のとおり、懇談会の下にWGを設置する。
- (2) 社債の価格情報インフラの整備等に関するWG
 - ① 上記 I の 1 の (3) 及び (4) については、昨年 8 月に、「社債の価格情報インフラの整備等に関するWG」を設置、社債の取引情報の報告・公表、公社債店頭売

買参考統計値制度の信頼性の向上に向けた検討を開始。

- ② 日証協は、平成 25 年 1 月から、証券会社からほふり経由で社債の取引情報の報告を求め、公社債店頭売買参考統計値の検証、社債の取引情報の公表に向けた検討を行う。

(3) 社債投資の促進

懇談会において、上記 I の 2 の機関投資家（年金基金等）の社債投資の促進に向けた課題の整理・検討を行う。

2. 今後の懇談会、WGでの検討スケジュール（案）

別紙のとおり。

以 上